

第57回福井県学校体育研究協議会の報告

第57回福井県学校体育研究協議会が平成25年2月13日（水）に福井県立大学で開催し、県内小・中・高（特別支援学校も含む）の約230名の先生方が参加しました。

開会式の後、平成24年度福井県学校体育優良校として、小学校3校と中学校1校の4校が表彰されました。

全体会では、ロンドンオリンピック女子レスリング金メダリストの小原日登美選手と笹山秀雄コーチの2人に「目標設定の工夫、トレーニングの工夫」の演題で様々な経験をもとにお話をいただきました。今回は、中学校と高等学校から1名ずつインタビュアーとして参加していただき、対話形式の講演会としました。「必ずしも計画通りにはいかない。今できる最善のことを積み重ねていけば大きな結果となる」「教える方が選手よりもきついと初めて気づいた。負けた時の悔しさは選手も指導者も同じ。スポーツ指導に一番大事なものは信頼関係」など、いろいろお聞きすることができ、教師・指導者として今後の指導に大変参考になりました。



分科会では、小中部会Ⅰ・小中部会Ⅱ・高等学校部会の三部会に分かれ、研究実践の発表がありました。特に小中部会では、両校種を1つの部会にして発表を行いました。異校種の取組がお互いに分かるとあって好評でした。



*優良校および発表者は以下のとおり

平成24年度福井県学校体育優良校

福井市湊小学校、坂井市立三国南小学校、越前市武生東小学校、
福井市進明中学校

<小中部会Ⅰ>

・敦賀市立栗野南小学校 榎本由美子 教諭

『子ども一人ひとりがめあてを持って運動する学習指導と評価の改善』
～ゲームおよびボール運動の指導の工夫～

・鯖江市鯖江中学校 漆崎 剛雄 教諭

『一人ひとりの能力を生かし、生涯体育につなげるための評価を生かした学習指導の研究』 ～ 器械運動の学習を通して ～

<小中部会Ⅱ>

- ・福井市麻生津小学校 高川 健一 教諭

『子ども一人ひとりがめあてをもって運動したり、健康を考えて行動したりする能力を伸ばす学習指導と評価の工夫』

～ゴール型ゲームの指導を通して～

- ・敦賀市気比中学校 青木 毅志 教諭

『心を鍛え、本気で授業に取り組む武道学習の研究』

～剣道の基本・礼法を身に付ける授業展開の工夫を通して～

<高等学校部会>

- ・県立三国高等学校 平木 寿治 教諭

『運動量を確保した体育授業を目指して』 ～短距離走のタイムトライアル～

- ・県立道守高等学校 伊勢 泰隆 教諭 宮西 博見 教諭

『将来にわたって、運動・スポーツに親しむ生活習慣を身につけさせるための授業のあり方について』 ～評価によって変わる、授業へのアプローチ～